

■アラブ首長国連邦：政府機関、世界最大の太陽光発電所に蓄電池を設置

2019年3月11日付業界紙によれば、アラブ首長国連邦（UAE）のドバイ電力・水利局（DEWA：Dubai Electricity & Water Authority）は、大型の蓄電池システムを既存の太陽光発電所に併設する計画である。この蓄電池施設（1,200kW／7,200kWh）はモハメッド・ビン・ラシッド・アル・マクトゥーム太陽光発電所（Mohammed Bin Rashid Al Maktoum Solar Park）に設置されるもので、UAE国内の太陽光発電所に電力系統規模の蓄電池システムが併設される初の事例となる。この蓄電システムは大容量の蓄電池を使用するため、電力タイムシフト（energy time shifting、周波数制御および電圧制御）にも使用される見通しで、蓄電池はNGK Insulators（日本碍子）が供給すると報じられている。モハメッド・ビン・ラシッド・アル・マクトゥーム太陽光発電所は段階的に建設されており、最大出力は2020年までに100万kW、2030年までに500万kWへ拡張される計画である。